

連合宮城

『第75回地方委員会』を開催！



代表し挨拶をする
大黒会長

連合宮城は、2023年2月28日(火)、ハーネル仙台（仙台市）において、連合宮城『第75回地方委員会』を開催した。新型コロナウイルス感染症が収束しない中ではあるが、前回同様の通常規模での開催となった。

議長団には電力総連・遠藤拓弥地方委員、情報労連・仲野実地方委員の2名を選出した。

執行部を代表し大黒会長は、「①東日本大震災から12年が経過する。各地においても震災を風化させないイベントが開催されているが、連合宮城も震災を風化させない、後世に語り継ぐという運動を継続して行っていく。②統一地方選について、連合宮城は現時点において26名の推薦を執行委員会として確認し、本日提起をする。推薦候補予定者全員の必勝を目指し、皆さんと一緒に取り組んでいく。③12月発表の組織率は16.5%という状況である。特に中小企業といわれる企業においては組織率は11%台であり、従業員が100名以下の企業においては0.8%という組織率になっている。やはり仲間の拡大については中小企業で働く方々の力が必要であり、今後も組織化に取り組んでいきたい。④春闘がはじまり68年目になる。ここ30年間は横ばいの状態が続いており、経済にも悪い影響を与えた。賃上げより雇用という流れが歴史的に繋がってきた状況であるが、今春闘においてはしっかり交渉をし、これまでの殻を破るような春闘にしていこう」と4つのポイントについて述べた。

その後、一般活動報告ならびに2023年度中間会計決算・監査報告が承認され、自治労・下遠地方委員からは、『公立刈田病院』の現状について報告があった。議案では、2023春季生活闘争方針（案）や第20回統一地方選挙対応方針（案）、第94回メーデー宮城県大会開催（案）が提案され、満場一致で承認された。



議長団：遠藤拓弥地方委員
（電力総連）（左）・仲野実
地方委員（情報労連）（右）

新事務局長・佐竹一則氏
（※前副事務局長私鉄総連）

現状報告をする下遠滋彦
地方委員（自治労）

第75回地方委員会議案

- 第1号議案 連合宮城2023春季生活闘争方針(案)について
- 第2号議案 連合宮城第20回統一地方選挙対応方針(案)について
- 第3号議案 第94回メーデー宮城県大会の開催(案)について
- 第4号議案 連合宮城役員の選出について
- 第5号議案 連合宮城役員の交代について
- 第6号議案 連合宮城役員の表彰について
- 第7号議案 その他

フリーランスの課題解決に向けて //

組合員のみなさん の知人に
フリーランス
Work-Qのサイトを紹介してください

こちら → 連合ワーク

連合宮城 2023 春季生活闘争 くらしをまもり、未来をつくる。



宮城県経営者協会との「労使懇談会」

連合宮城 2023 春季生活闘争

連合宮城は、春季生活闘争におけるヤマ場の前段において、連合宮城・宮城県経営者協会「労使懇談会」を以下のとおり開催し、2023 春季労使交渉に関する諸課題について意見交換を行った。

- 開催日時 2023年3月2日(木) 14時00分～15時15分
- 開催場所 江陽グランドホテル 4階「銀河の間」
- 開催内容 (1) 労使代表者あいさつ
(2) 「2023 春季生活闘争に関する要請書」手交
(3) 意見交換会



- 出席者 連合宮城四役 (8名)、宮城県経営者協会 (13名)

宮城県経営者協会の海輪会長は、経労委報告のポイントについて触れるとともに、「①「賃金決定の大原則」に則って検討する方針は堅持、物価動向を特に重視しながら「企業の社会的な責務」として賃上げに向けた積極的な対応が必要。②「賃金引上げ」と「総合的な処遇改善・人材育成」を積極的に検討し、働き手の「働きがい」と「働きやすさ」に資する施策の導入・拡充が重要。③「闘争」関係ではなく、価値協創に取り組むパートナーであるとの認識の下、協力して未来を創造する「未来協創」の労使関係を目指していく。また地方の立場として、中小企業にとっては価格転嫁も進まず、賃上げの余力がないところが多いというのが現実、賃上げに向けては中小企業自らが生産性の向上に取り組むことは勿論だが、「サプライチェーンにおける適正な価格転嫁」と「一般消費者からの価格転嫁に対する理解」が非常に重要である。協会としても、引き続き「サプライチェーンの価格転嫁」についての実効ある対策を要請するなど、中小企業の賃上げに向けた環境整備に取り組んでまいりたい」と挨拶。

連合宮城の大黒会長は「今次開催された労使フォーラムで経団連は『賃金交渉で物価動向への配慮がこれほど強く求められた記憶はない。実情に適した賃上げを実施してほしい』と述べている。連合も、今次闘争の意義と基本スタンスの一つとして、経済の後追いではなく、経済・社会の活力の原動力となる「人への投資」を積極的に求める「未来づくり春闘」で、賃金も物価も経済も安定的に上昇するステージへの転換点としており、方向性は一致している。重要なことは、雇用者の7割を占める中小企業や非正規雇用者に賃上げを広められなければ流れはかわらない。適正な価格転嫁を促すため、「パートナーシップ構築宣言」に協力し、サプライチェーン全体の適正分配に引き続き労使で取り組んでいくことが重要である。賃金はコストではなく、付加価値を生み出す原動力であり、「人への投資」で生産性と実質賃金を持続的に改善していくことができれば、将来の所得と生活水準上昇への期待値が高まり、デフレの悪循環を断ち切ることができる。については、労使交渉が両組織の信頼関係をより深め、様々なレベルで未来志向の労使関係につながっていくことをお願い申し上げます」と述べた。

労使懇談会では今次春季生活闘争を取り巻く状況について意見交換を行った。

連合宮城2023春季生活闘争に関する要請項目

- (1) 賃金引き上げ、「底上げ」「底支え」「格差是正」の取り組みについて
- (2) 適正な価格転嫁等の取り組みについて
- (3) 「すべての労働者の立場にたった働き方」の見直しについて



▲海輪会長に要請書を手交する大黒会長(左)



▲ 連合宮城



▲ 宮城県経営者協会



全ての働く者の底上げ集会

連合宮城 2023 春季生活闘争

連合宮城は、4月以降に本格的な山場を迎える中小企業や地場産業に働く労働者・組織などの支援と世論喚起、すべての働く者の賃金の「底上げ」「底支え」「格差是正」および「すべての労働者の立場にたった働き方」の同時実現を目的に、以下のとおり「2023すべての働く者の底上げ集会」を開催した。また、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、開催規模については縮小となったが、4年ぶりとなる屋外での集会も開催した。

○開催日時 2023年3月28日(火) 16時00分～19時00分

○開催場所 【第1部】 ハーネル仙台 2階「松島」 【第2部】 仙台市勾当台公園

○参加人数 【第1部】 約90名 【第2部】 約150名

【第1部】

(学習会) 16時00分～17時00分

- (1) 開会 (オープニングムービー上映)
- (2) 主催者あいさつ
- (3) 基調講演
- (4) 閉会



【第2部】

(底上げ集会) 18時00分～19時00分

- (1) 開会
- (2) 主催者あいさつ
- (3) 情勢報告
- (4) リレートーク
- (5) 連合本部激励
- (6) 集会アピール (案) 採択
- (7) 閉会・団結ガンバロウ



第1部の学習会では、冒頭主催者を代表し大黒会長は、「人口減少が進む中、2030年には644万人の人手不足が推測され、人材の奪い合いはますます過酷となる。今次闘争では多くの組合が積極的な要求を行い、満額回答を含め要求の趣旨に沿った回答が引き出されている。これは労使の真摯な協議の結果であり、これから本格化する中小組合の労使交渉を後押しし、賃上げのうねりを社会全体に波及させていくことが重要である。賃金も物価も安定的に上昇するステージへ変える転換点としたい」と述べた。

基調講演では、連合総合政策推進局労働条件局の森田局長を招き、「くらしをまもり、未来をつくる。価格転嫁まったなし！」と題し、今次闘争を取り巻く情勢や、価格転嫁に関する各種取り組みについて説明を受けた。

場所を屋外へと変更した第2部では、大黒会長の主催者挨拶をはじめ、佐竹事務局長より今次闘争に係る情勢報告を受けた。

つづいてリレートークとして、既に妥結した組織（J P 労組・電機連合）からの今次交渉の結果や、これから本格的なヤマ場を迎える地場・中小組織（電機連合 [地場組織]・U A ゼンセン・運輸労連）からの取り巻く情勢、交渉状況についてマイクを繋いだ。

また、第1部に引き続き連合本部森田局長にも参加いただき、激励のお言葉をいただいた。本集会におけるアピール（案）については、連合宮城女性委員会佐藤事務局長次長（情報労連）に提案いただき、満場の拍手で確認するとともに、最後は大黒会長の発声のもと「団結ガンバロウ」により締めくくった。



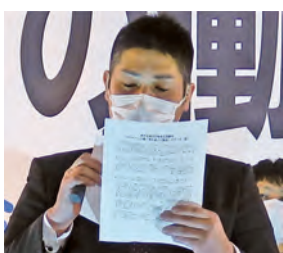
(写真上)基調講演をいただく森田局長、(写真下)佐藤事務局長次長<<アピール(案)採択>>



<<妥結組織>>
菊地氏(J P 労組)



<<妥結組織>>
阿部氏(電機連合)



<<決意表明>>
石沢氏(大崎地協)



<<決意表明>>
葛西氏(U A ゼンセン)



<<決意表明>>
齋藤氏(運輸労連)

連合宮城青年委員会「2023 青年春闘フォーラム」を開催!

青年委員会では、2023春季生活闘争の取り組みとして「2023青年春闘フォーラム」を開催した。

今回は、3年ぶりとなる街頭宣伝行動を春闘フォーラムの前段に実施し、3名の幹事によって、「サブロクの日」に関連した内容を街頭にて訴えた。

フォーラムについては、昨年に引き続き Zoom を併用したハイブリット開催とし、メイン会場（ハーネル仙台）への集合は12名、リモート参加が9名（6接続）で実施した。

学習会では、連合宮城の阿部副事務局長から2023春闘の情勢や取り組みなどについて説明をうけ、「大手が賃上げを公表する中で、宮城の中小や地場企業の情勢などについて」や「若者が主体的に春闘に参加するための有効な取り組み」といった質問があり意見交換を行った。

その後、接続を切り替えることとなったが、連合本部が開催した「政策・制度 要求実現 3.7 中央集会」の YouTube ライブに参加し、中央集会の状況などを視聴した。



(写真上)街頭宣伝の様子、(中)メイン会場の様子、(下)参加者全員での集合写真

1. 開催日時 2023年3月7日(火) 17:00～19:00
※ 幹事による街頭宣伝行動 15:00～15:40
2. 場 所 ハーネル仙台6階ふじ（メイン会場）
※ Zoom 接続先によるリモート併用開催
3. 内 容 ①開会・挨拶 松長副委員長
②学習会「2023春季生活闘争の取り組みについて」
連合宮城 阿部 副事務局長
③閉会 佐藤事務局長
④連合本部「政策・制度 要求実現 3.7 中央集会」ライブ視聴
4. 参加者 集合12人（幹事：4人、組合員：4人、事務局：4人）
※ リモート6接続（9人）

連合宮城女性委員会「3.8国際女性デー宮城県行動」を実施!!

今年の「3.8国際女性デー宮城県行動」は、新型コロナの感染防止を最優先に、宮城県集会は開催せず、実行委員会構成団体の政策を訴える街宣行動を実施した。

今回の街宣行動では、国際女性デーのシンボルであるバラを600本とティッシュを街頭配布した。

4年ぶりとなる街頭でのバラの配布は周囲の方々の興味を引き、「3.8国際女性デー」の周知度向上につながった取り組みであった。

連合宮城女性委員会からは事務局含め9名が参加し、2023春季生活闘争と連動し、女性の地位向上や男女平等、労働組合結成の重要性を照井委員長が訴えた。

- 日 時 2023年3月8日(水) 11:45～12:30
- 場 所 一番町平和ビル前
- 内 容 2023春闘、ディーセントワーク、ワーク・ライフ・バランスの実現、ジェンダー平等、ハラスメント防止を訴える街頭演説
- 参加者 連合宮城より9名（構成団体全体で23名）
＜女性委員会＞ 照井委員長・宮川事務局長・小畑幹事・清野幹事・畠山幹事
＜事務局＞ 佐竹・阿部・菊池・佐藤奈津子
- リレートーク 進行 連合宮城女性委員会 宮川 則子 事務局長
① 連合宮城女性委員会 照井 美紀 委員長
② 立憲民主党第二県連 樋口 典子 仙台市議会議員
③ 立憲民主党宮城県連 遊佐美由紀 宮城県議会議員
④ 女性会議宮城県本部 大沼 悦子 幹事



◀(写真上)街宣の様子(宮川事務局長(左)、照井委員長(右))、(上から2、3枚目)配布の様子(ハラ)